

広報



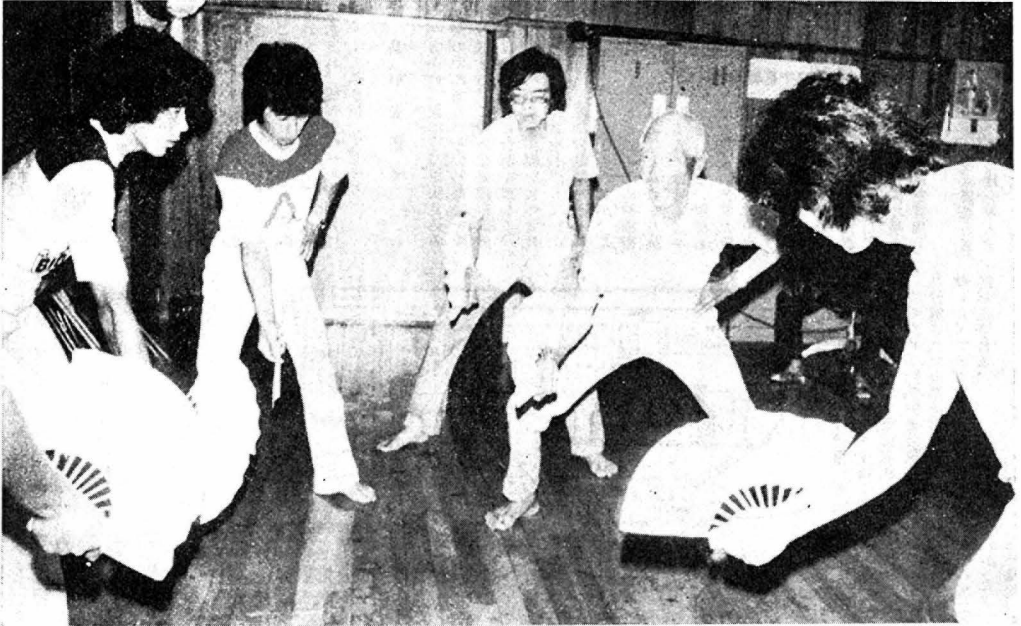
ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

「県民相談日」の開設

県では、九月六日から毎月第一月曜日の午前中、県民相談日」を開設することになった。
これは、県民から県政についての意見、ご要望や苦情相談などを各総務事務所長がうけたまわりその解決をはかる。
皆さんご利用をお待ちしている。
なお開設要領は
一、相談日の開設(毎月第一月曜日(午前10時正午まで))
二、中央総務事務所
三、申込先 秋田総務事務所
(秋田市山王四丁目二号、電話六〇六二二〇一)
四、申込(電話、ハガキでも結構です)は、原則として前の週の日曜日まで

沢田石さんを中心に熱心に練習する若者たち



ゆたかなふる里づくりの一環として

内川地区の湯ノ又部落では、その昔から大正後期まで「ささら」舞が継承されていた。しかし後継者のいないままその後姿を消していたが、内川青年会(工藤次夫会長)では、去る昭和49年からゆたかな「ふる里」づくりの一環としてこれを取りあげ、「遺産文化に取り組む実行委員会」を結成し、さらの完全復興に取り組んでいる。

古老若者たちの熱意にほだされて

何しろ60年前のことであり記憶の定かでない人が多く、結果的に76才の沢田石喜代松さんと伊藤東蔵(69)さんの2人にすべてをゆだねることになった。沢田石さんたちも、若者たちの熱意にほだされて今年の5月から週3回の実技指導に当たっている。練習は夜8時から湯ノ又公民館でおこなう。仕事で疲れているはずの若者たちだが、沢田石師匠を迎える「こくろうささんです」の声にはずみがある。それに答える師匠の笑顔は孫たちにかこまれた好々爺のそれである「おーおー来てたが、来てたが、したらはじめるが」

空カンを小太鼓の代用

若者たちは小太鼓の代用としてミルクの空缶に、ピンクのヒモを付けて腰にくくりつける。それに棒切れのバチが二本、これが獅子舞の衣裳で、空缶は変形に変形を重ね、練習の激しさを物語っていた。30分も踊ると若者たちの肌を汗が走り熱気を帯びてくる。これが終ると、扇を使うやっこふりの踊りとなる。これはまた21番まであり、今年中にはすべての舞を自分たちのものにした。これが若者たちの願いでもあった。

楽しみな秋の発表会

若者15人の熱意が、古老を動かし、消えた記憶を呼びもどしてさらの格好は一応整えたが、これを支える道具が全くないこれがメンバーたちの頭筋の種である。獅子踊りの獅子面をはじめ、小太鼓、それに衣裳、伴奏用の太鼓、笛、鐘などで最低35万から50万円ほどになる。自分たちの資金も出すが、地域の協力を得なければとてもその目標は達成し得ない。しかし、内川地区の人々はこの若者たちにあたたかい支援をおくっている秋の発表会には、善意に満ちた小道具と衣裳で、勇壮な踊りが披露されることであろう。今からその日が楽しみである。

よみがえった「内川さら」

若者たちの熱意で



△広報サロン▽
訪ソ青年の船に参加して
五城目町社会教育主事
伊藤 敏 雄

二週間にわたるソ連の研修の旅に指導団員として参加させていただき、私個人にとって生涯忘れたいことのできなない、残るものがあった。
この一つは、私は研修期間中に七月の誕生日を迎えることができ私にとっては記念すべき日であった。今年度は、明るく正しく整然とマッソーにして各班の研修テーマと個人テーマをもって、年令、職業、団体活動など和生活環境を異にした青年が、国情と風土の違いを未知の国を訪ねて、それぞれの視野を広めるとともに、外からあらためて、日本、郷土秋田を見つめなおして、そのすばらしさを探求する旅が始まりました。
七月十二日、秋田港から盛大な見送りをうけて出港した私たち二五五名は翌日、海も穏やかだったせいもあり、近い感じで、外国にきたというオノカ港に着いた。
しかしシベリア鉄道、ジェット機に乗って、途中時差を修正し、モスクワに到着するときは、国の広さ、果てしない大自然の緑がまばゆいほどに近々と広がっていたのはただ驚嘆するのみであった。(つづく)

田川清掃工場

「においのしない」し尿処理場

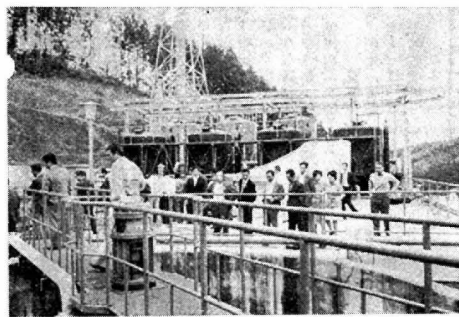
去る七月十九日、役場職員五十名が青森市田川清掃工場を視察した。清掃工場と言っても、これは青森市市民十五万人相当の「し尿処理場」である。

し尿処理場と聞いただけで、特異な悪臭、汚泥など生糞を想像して胸のムカツキを覚える人もいるが、この工場に着くとそんな潜在意識が一掃される。清らかな化学工場といったところである。

この施設は昭和四十八年に四億八千万で建設され、設備の特色として酸化処理方式を取り入れている。

一次処理

一方生のし尿に空気を吹き込みし尿の中にあるいろいろな物を酸化分解する。この酸化処理方法の特徴は、空気を好む菌を放して、菌の体に附着する汚泥を食べさせる方法で、微生物を利用していた冬期分温度が下がるため心配されたが、これも技術的に解消出来ることばかり臭いもなく施設がくさらないので、説明者は最もよい方法だと強調していた。一次で八〇％処理二次で二〇％処理であったこれが酸化方式で、その時に生ずる悪臭に対する対策として直火燃焼方式で投入棟脱臭装置を採用していた。



処理場を熱心に視察する職員たち

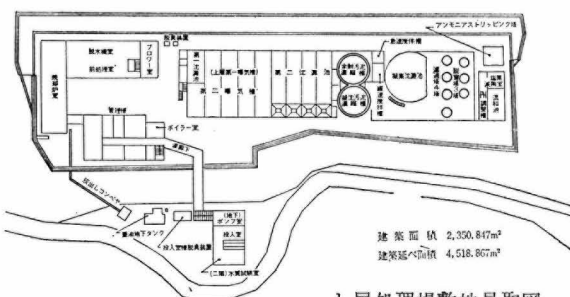
この直火燃焼方式は、生し尿を投入する時に発生する、悪臭ガスをファンで吸

引して、直火燃焼脱臭装置に導き七百度〜七五〇度程度で酸化し、臭いの無いガスとして外に放出していた。

十四日間好気菌に食べさせる

二次処理

これは一次処理で分離した液体を活性汚泥法で処理していた。一



し尿処理場敷地見取図

三次処理

二次処理水は凝集剤槽でし尿物が固まるような薬品を入れてかきまわす、鱗は不溶性の塩類となって折出し、他のものごく細かな浮遊物とともに凝集沈澱池で沈澱する。上の方である澄んでいる水は更に濾過槽に圧送され、さらに細かな浮遊物質などが濾過り取り除かれる。そして沈でんした汚泥は円形掻き寄せ機で集められ、引抜かれて凝集汚泥濃縮槽に送られる。

汚泥処理も焼却で

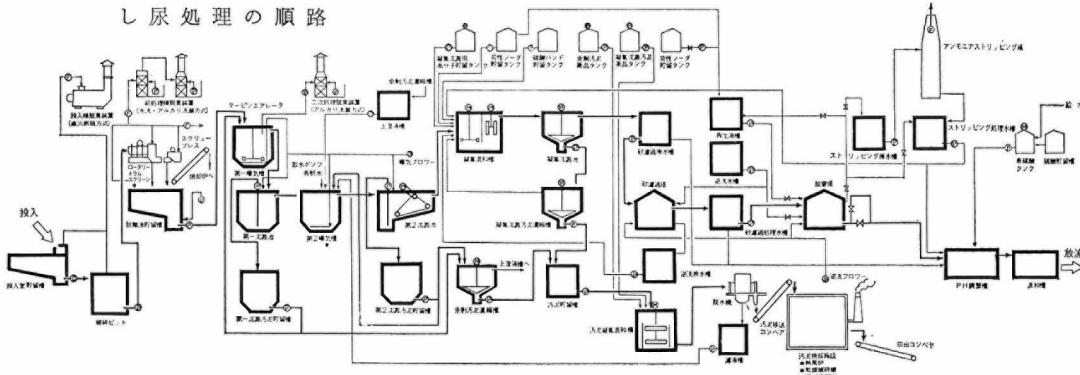
余剰汚泥と凝縮沈澱は別に濃縮槽で濃縮され、高速遠心脱水機で脱水された後、熱風で乾燥のうえ焼却炉で焼却され放出される仕組みになっていた。

まとめ

この処理場は、簡単に言えば、パキニムカーがし尿を投入する段階で悪臭をファンで引出し、ガスを焼却して放出するのをはじめ、移動させるし尿の汚泥を菌に食べさせて次第に酸化をはかりそれを更に焼却して固形の形で放出する方法ですべて衛生的であった心配された放流水も、三次処理により

第二曝気槽に入った液は、清水で二十倍にうすめられ、ここで八時間程の曝気を活性汚泥法で処理、沈澱池に送られ、上の澄んだ水と沈んだ汚泥に分けられる。上の澄んだ水は三次処理の工程に入り、沈んだ汚泥や返送汚泥は第三曝気槽へ、余剰汚泥は濃縮槽へ送られる。

し尿処理の順路



第6回 県民スポーツ大会

— 8月28日 ~ 29日 —

県内各地域のスポーツ活動の促進とスポーツグループの育成をねらいとして、県民総参加を呼びかけてはじめての県民スポーツ大会も、今年で六回目を迎える。本町からは毎年各種競技に参加し、優秀な成績をあげているが、今年も剣道をはじめ、女子バスケットボールチームを筆頭に各チームの活躍が期待されている。なお大会の内容は次のとおり。

- 一、期 日 八月二十八・二十九日
- (一部競技団体により異なる)
- 二、会 場 秋田市(各種別会場は別記)
- 三、実施種目(一)内は試合会場
 - ・陸上競技(八橋競技場)
 - ・バスケットボール(市立体育館)
 - ・柔道(秋田警察)
 - ・相撲(八橋相撲場)
 - ・球戯(立体育館)
 - ・卓球(愛高)
 - ・パトミントン(敬愛高)
 - ・ソフトカー(市民グラウンド)
 - ・ソフトボール(秋武野球場)
 - ・軟式庭球(八橋コート)
 - ・銃剣道(経済大学)
- 四、開会式
- ①会場 秋田県立体育館
- ②日時 八月二十八日午前十時
- ③集合 同日午前九時三十分まで、県立体育館小体育館に集合のこと。
- ④服装 各種目別服装またはトレーニンングウェアとする。白の上ばき、ズックを持参の上、外靴と必ずはきかえること。
- ◆バレーボール大会は 九月四日・五日・六日
- ①会場 秋田県立体育館・市立体育館
- ②種目 (イ)男子の部 (ロ)女子の部 (ハ)壮年の部
- ③注意 昭和五十年・五十一年度の各種全国大会県予選に出場した選手は参加出来ない。

町民センター和室完成

宿泊の受け付けをはじめる

町民センターの中で、その完成を待たれていた三階和室が、この程ようやく竣工した。和室は、婦人研修室と宿泊室に分かれているが、婦人研修室は(わらび、ふき、あざみ)特に茶道関係者の要望をとり入れ、水屋、にじり口、内坪、土縁を完備して茶室も兼ている。

また宿泊研修室は、みちのく、おふくろ、ふるさと、に分れておける各種会議はもちろん、老人いこの間、結婚式場としても利用できる。部屋も立派だが、窓から眺める風景が見事で、森山と馬場目川を軸とした、大規模な自然庭園美は絶景である。老人クラブ員の強い要望により、大理石の立派な風呂場も完備している。

◆和室

(共同風呂共)

一人・二人千六百円
三人・五人千三百円
六人以上 千五百円
いずれも素泊り料金で、飲食代は別である。



三階の和室で会議中の老人クラブ

第305号

こちらに着いて早いものでもう三カ月が過ぎてしまいました。どちらを見ても果てもなく広いのに驚いています。日本の冬に当り気温は、十度前後で雨も時々降りますが、ほとんど晴れの日が多く、とても冬とは思えません。特に、空の澄みきつているのは、日本ではとても見ることができないでしょう。言葉も大体の日常語はわかるようになりましたし、食事もマトンやチキンなどに、野菜の煮た物とかミート

冬のオーストラリアから

ロータリー交換留学生

島山 和美



いやりがあり、いい人たちばかりです。私の家族もやさしい人たちで、私にカーディガンやロングスカートを作ってくれたり、実の子のようにしていただいていますので、私は本当に幸せ者と思ひ、感謝しています。

この前ロータリーで私の歓迎会があった時に着物を着て行ったら苦しくてすわりにくくて、食事は満足にできないし、本当に容易ではありませんでしたが、とても彩りがられてうれしく思いました。また、六月下旬に交換学生たちとホテルズギヤブという所へ一宿二日で行って来ました。私は、そこで日本の交換学生に会い、日本語でいろいろ話をしましたが、三カ月以上も日本語を話していませんでした。私たちは、山に登ったりドライブしたり、コンサートを聞いたり、とても楽しく過ごしました。私は、この幸せを一生忘れる事なく、私自身も多く学び、社会奉仕に役立ちたいと思っています。

七月九日



初風呂につかる老人クラブ員と町長

町民センターの風呂開き

町では町民センターの3階和室の竣工にあわせて、7月23日午後1時30分から宿泊室に隣接する風呂開きを行った。

当日は、五老連の役員会に出席したみなさんが、クラブ員を代表した形で初風呂につかった。この風呂は大理石で出来ており面積は、16平方メートルある。入浴は1回に10人位利用出来る。風呂に体を沈めると窓外に森山や町の姿が一望出来るように設計されている。これからは宿泊者はもちろん、老人クラブのみなさんや一般の町民にも愛用されることであろう。

- ・みちのく 15量
- ・おふくろ 12-5量
- ・ふるさと 15量
- ・おふくろ 10量
- ・ふるさと 6量
- ・わらび 10量
- ・ふき 10量
- ・あざみ 6量

宿泊研修室

婦人研修室

館町で移動町民室

運動公園の整備と一体に町づくり

去る七月十九日午後七時三〇分から後編児童館で、館町移動町民室が開れた。

体育館、センターの隣接町内として、将来の町づくり、同町内の運動公園と一体化した発展方向や道路の改良、補修、側溝整備、街路樹などについて要望意見が出された。これに対し、町当局は後編運動公園の整備と都市計画路線との関連で前向きに取り組む方向を示した。

また金子町内会長の「いつも町長さんに会いたい」という町内会のみなさんの要望が実現した。この機会を利用して、町内の再発展を期したい。」で始まった。

町の現状と展望について

加賀谷町長から説明があった。

町長：金子さんから大へんありがたいうちさつをいただき恐縮しておる。

更にまた、大きな建物を一昨年、昨年と建て、みなさんに大へんご迷惑をおかけしました。何十年に一度あるかまじい大事業でしたので、みなさんにはご迷惑をおかけしたものと考えますが、互いに智慧を出し合せて有効に対処したい。

今後、この体育館周辺を整備していくが、五・六億円の事業費投下を見ており、建設省の認可を得て、このうち五億は国庫補助金なので、したがって六億の仕事をやれば三億円です。

さらに用地買収に関しては別の国庫補助で開発公社が相当部分を所有している。これを町で買って町を中心にして申し上げると、町づくりは馬場目川の水を生かしたい。役場の周辺と一体化して運動公園を整備して行く考えである。磯ノ目地区の区画整理事業は、宅地造成地として二〇町歩あり、町で必要とする宅地をほとんどまかなえる。

赤字解消について

現状に関しては

町部の方は都市計画事業、農村部は山村振興事業と農村総合整備モデル事業で、大きく分けて二本の柱を補助事業に乗せて進めたいと思つて。

町民のみなさんから入る税金は約三億円である。町の予算は二〇億円、どうしても限りある財源の中で、大きな仕事をせざるを得ない。補助事業に乗せざるを得ない。

一昨年からの累積赤字額が約八六〇〇万円ある。これを解消するために、県行造林六〇〇町歩を一県に伐採すればできる。しかし、県の計画や木材産業界の景気、不景気がある関係で、町の都合だけで全部伐採することはできない。このため毎年一万石程度伐採しながら、段階的に解消して行く考えである。

年間予算二〇億で、他の仕事も

当り前にやりながら二年間で一〇億円の事業をやることは意識的なものであった。そのために増税するという考えはない。

早く赤字を解消しながらつぎの仕事に移っていききたい。



加賀谷町長から町政報告を聞く館町の皆さん

湖東部の中心地

体育館の前に二・三道路をつく。都市計画事業で補助で実施する。

今年には体育館から、県道まで舗装の見通しをつけてから天理教の方から岩野の方へ二・三道路を通す。

中央線は磯ノ目地区から高崎まで一八・四道路をつくる。

まだまだそれ以外にも沢山あまの田や、湖東部の中心地にふさわしい道路網と建物を整備してゆきたい。

・秋田市との関連は無視できない

交通体制を維持して行くため、国道七号線を中心とした拡幅と同時に二八五号線を整備する。さらに内川湯ノ又から台、御蔵下、井川を通り秋田市黒川に抜ける林道をつくらせている。

いづれ本格的に建設されるであろう秋田と鹿角間の自動車専用道路が完成するまで、現在の道路を補修整備し、五城目、秋田間の交通を確保してゆきたい。

橋を永久化するため、め坊村橋を架架する。約一億円、五〇〇万円の町費が伴う。

町内全道路を舗装

橋一本をかける経費を道路の方へ移した場合は、相当スピードアップできるのではないかと考えている。

未舗装の道路については、二、三年の間にはほとんど舗装できるだろうと思つている。

司会：町長からの説明を踏まえてこれから町当局に対し七項目にわたつて要緊事項の説明をお願いします。

質：一、町内道路及び小路と側溝の整備について

(イ) 後編公園前の道路

町：体育館、センターをはじめ公園を含めて検討したい。

(ロ) 後編本間商店前から西野屋まで

町：臨時市町村道路整備事業債を申請中につき、その認可を得て取り組む。

(ハ) 天理教から岩野に面した金田宅前まで

町：五十二年用地買収したもので、関係者が協力していただければ五十三年度から着工できるのではないかと考えている。

(ニ) 役場裏から本間商店前

町：県道からくる坂のところまで今年舗装したい。坂の上は都市計画路線との関連で検討したい。各小路の補修は状態をよく見て舗装補修の段階で検討したい。

(ホ) 側溝の整備補修

町：主要下水を解決したいので、真崎堰に流れるようにする。現時点では本管利用という形で解決させていただければ検討したい。

二、町内出入口の街灯設置について

町：これまで七項目にわたる町当局から説明を受けた。この総括的なまとめとして加賀谷町長からご感想を述べただきたい。

町長：素直に申し上げ、問題が山積しておりながらお互いに對話が不足であったと思う。

答える役場の職員が問題箇所を確認していただけたことは大へん申しわけない。いま司会の方から側溝、道路など来年再来年とわづややって欲しいという事ですが、これはいいですね、部長たちがわけてはゆかないかと、部長たちが応えた以上のことをご何かの方で御指示したいと思つて。みなさんから出された問題を協議して出来るものから早速結論を出して全長さんにお答え申し上げたい。全部出かすことにはできませんが、うやうやして長時間話し合つたみなさんに対して何等かの点で誠意をまつてお答えしたい。



公園・道路の整備は緊急な課題

三、住宅の補修及び払下げの見通し

町：農村モデル整備事業や都市計画路線との関連で検討したい。

町：総合開発計画にもつき、五十一年度から五〇〇戸の住宅建設を予定しており、それとの関連

で払い下げを検討したい。

四、上水道の圧力について

町：一三管管から一六管管にすれば解決するが、一戸当り二万円、自己負担を必要とする。

五、税金が他町村より高くないか

町：本町は法律の定めにしたがい標準税率を適用してあるので決して高くない。また、国保税率は全県で低い方である。

六、体育館の使用について

町：朝夕二時間無料で開放しており、また、事務手続についても電話申込みも受付けており、お気軽にご利用ください。

七、公園の桜、街路樹について

町：後編運動公園や都市計画の関連で検討したい。街路樹についてはよく実情を見て対処したい。

第12回 五城目町全町体育祭実施要領

九月五日(日)

ことし十二回目を迎えた全町体育祭の開催で要領が決まった。この体育祭は、日ごろ明るい町づくりをめざしてそれぞれの立場で活躍している町民が一室に集い豊かな体力と精神を育くみ互スポーツを通じてよりよい町民相互の協調を深め合おうとするものである。要旨はつぎのとおりである。

● 体育祭実施に伴う諸問題

・会場における諸車の取扱いは、原則として、校庭へは入れません。会場周辺の町内、部落は自転車並びに徒歩でおねがいする

・ゴミはスタンドの中心にくず箱を用意するので所定の場所にとめる。
 ・その他

・スパイクの使用はできない。
 ・選手の年令は九月一日現在の満年齢とする。
 ・トイレは学校体育館のトイレを開放する。
 ・プログラムは別表のとおり

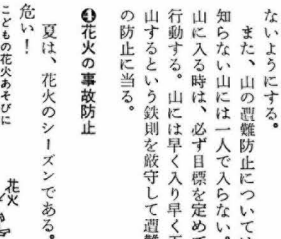
夏の防犯及び

事故防止活動月間

七月二十一日より八月二十日まで夏の防犯及び事故防止活動が行なわれる。この活動は、夏に多く発生が予想される盗犯と少年非行、交通事故、水難及び山の遭難等を防止し、明るく住みよい社会をつくるため行なっているものである。



● 盗難の予防と非行防止
 夏は暑さのため気持がゆるみがちになり、鍵のかけ忘れや、窓、



● 花火の事故防止
 夏は、花火のシーズンである。危ない! こどもの花火をそばに焚くつげましょう。

- 日時 九月五日(日)、雨天の場合九月十二日(日)に延期
- 会場 五城目小学校グラウンド
- 参加申込期限 八月八日(金)
- 参加申込の宛先 五城目町公民館(五城目町上樋口字堂社七五) 電話四一一
- 参加資格 五城目町民であること。

・居住する町内部落からの出場者であること。
 ・たとは、町内部落で三〇戸未満のところは隣接する町内部落と合同することができる。

● 選手の出場制限

選手は一人一種目とする。同一選手が二種目以上出場した場合は出場種目全部を失格とする。(ただし、リレーはその限りではない。)

これは体育祭が特定の選手だけのものではなく、一人でも多くの選手が出場し、楽しんでいただく

(別表) 第12回 全町体育祭プログラム(種目)

番号	競技種目	性別	対象年令	選手数	所要時間	用具
1	100M 走	男	30才以上	1人	10:40~10:50	ピステル
2	60M 走	女	16才以上	1人	10:50~11:00	#
3	交通安全リレー	男	50才以上	6人1組	11:00~11:20	タイヤ
4	80M 走	男	40才以上	1人	11:20~11:30	#
5	二人三脚競走	男女	30才~40才	2人1組	11:30~11:40	タオル
6	マラソン	男	20才以上	1人	11:40~11:50	#
7	走れロボタン(リレー)	男女	25才以上	6人1組 女3人 男3人	11:50~12:10	バスケットボール ヘルメット メダグ
8	300M 走	男	16才以上	1人	12:10~12:30	コードル ホイコードル
9	マスケゲーム(平和音頭)	婦人	婦人会・若妻会		12:30~12:50	レホイコードル
10	# (新五城目音頭)	#	#		12:50~1:00	#
昼 食						
11	はこべタイヤキ君(リレー)	男女	小学生、中学生 20才以下各男女1	6人1組	1:40~2:00	輪ゴム はし、イン フアーセ イス、メ ア、セン 玉
12	入れたり出したり破いたり	女	45才以上	1人	2:00~2:20	メダグ
13	台風の目	男	26~35才	4人1組	2:20~2:40	物干竿
14	女子年令リレー	女	小学生、中学生 16~30才、31~40才 41才以上各1名	5人1組	2:40~3:00	バトン
15	男子年令リレー	男	小学生、中学生 16~30才、31~40才 41才以上各1名	5人1組	3:00~3:20	#

※ 入場行進、応援団等(特別部門)についての採点は別とする(特長あるブラカードを各町内部落会ごとで作成し持参する事)

※ ゴミ収集車が当日会場に來ますので控所のゴミクズはゴミ袋に入れて車に入れてください。

● 夏季の交通事故防止

最近県内各地でスピードの出し過ぎによる交通事故が発生し、尊い人命が失なわれている。これから帰省客の事故、高校生などオートバイ事故、また、お盆等のため飲酒運転による事故などの多発が予想される。このような事故が起らないよう運転者はもちろん、町民が一丸となって、交通事故防止にあたる。

● 水難及び山の遭難事故防止

毎年幼ない命が水のため失なわれている。子供連は、禁止区域での遊泳は絶対させないこと。幼



● ドライブで、車の窓から覗いてらるを控へよう!
 ・山火事の原因になります。
 ・車中の灰皿に捨てよう。
 ・車の窓からの覗き控へよう。



子供達だけで花火あそびをするのは火災予防上からも危険なので、必ず大人が付き添い事故のないようにする。

八月七日 第六回子ども祭典

花火、仮装行列など盛りだくさん

来る八月七日(土)午後三時三〇分、五城目小学校を会場にして第六回子ども祭典を行う。この開催の主旨は、全町の小学校児童生徒が美しい自然環境の中で、多くの仲間たちと交流を図りながら、情熱豊かな人間に成長することをねがっておこなうものである。例年盛会のうちに終わっている

子ども祭典ではあるが、当日は時間の許すかぎりご父兄の方々もおいでになって、一緒に楽しんでいただきたいと担当課では呼ばかけている。
主な内容は次のとおり
一、日時 八月七日(土)
午後三時〜九時まで

五城目町子どもの祭典交通規制並びに駐車場案内図

● 8月7日(土)午後2時から9時まで
交通規制を実施します
ご協力ください。
(雨天の場合は順延)



町都の参加者
うがに観覧車は車の
利用を遠慮く
ださい

二、会場 五城目小学校
三、参加対象
町内小学校五〜六年生、中学校
一、二、三年生、育成関係者

四、日程

開会式 午後三時三十分
フオークダンス
① 三時三〇分〜四時三〇分
みんなであうたおう
② 三時五〇分〜四時三〇分
各学校ごと
③ 四時五〇分〜五時三〇分

米づくりに役立てたい 農業気象観測記録

とまどいの
稲作管理
七月二十四日
候所のつゆ明けが
宣言されたとなん
と、真夏の太陽は
ジリジリと身のお
きどころがない程
照りつけた。それ
までの朝夕は例年
にない寒さであつ
たため、農家の人
々は気が気でなか
った。

田植は早く終わったのに稲の丈は伸びなほどもとくに、分けつが少ない。中干しするにも保温を考えると、灌水はしておく必要があるなど、とまどいの稲作管理であった。

農業気象観測十三年目

今年には異状気象だらうか。この疑問をひもどくために、樋口部落で昭和三十八年から、五城目地区農業気象観測を担当している、猿田俊蔵さんの門をたたいた。猿田さんよこの十三年間一日も休むこ

夕食(自由交流、あとかたづけ)
④ 五時三〇分〜六時三〇分
七夕行列
午後六時三〇分〜七時
キャンプファイヤー、打上花火
⑤ 七時〜九時

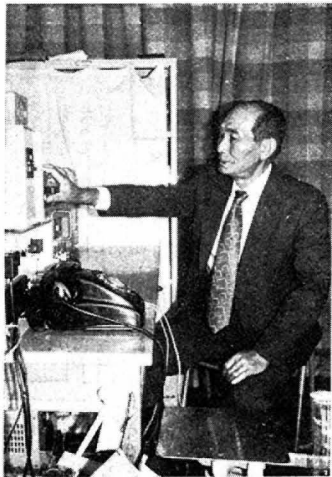
五、その他

① 帰りは例年通りバスで輸送します。
② 参加者(学童)は夕食、ズボン長そでシャツ、トーチをご持参ください。

十七度以下十三日間
今年の七月一日から二十日まで稲の成育にとって最低必要温度とされている十七度以下になった日が十三日間もあった。昨年は六日間である。平均温度は、最高温度が昨年より〇・〇七度高い、最低温度が二・一六度も低くなった。今年の異常性はこの辺にあるようだ。

くすれた冷害克服技術体系
稲のふる里は南方系だと言われ低温は稲の性格に合わないのだである。猿田さんは稲作の将来を語っていた。

「稲は多少の異常気象には管理さえ良ければどうにかなる、しかし軒並み総兼業化時代を迎えている。昭和三十七年〜八年ごろの生産意欲は消えうせ今それを期待するの



観測記録をまとめる猿田さん

秋田気象観測所へ電話で報告している。この町では唯一の気象観測所であり、その記録は農業経営の上からも非常に貴重な資料としてその役目を果たすものとみられる。

は無理だらう。加えて、堆肥肥の施用は減る一方で、地力は減速するし、冷害を克服する技術体系はくすれてしまっている。
米の国秋田にない稲の試験場「うまい米作り」の理解は出来

南秋家庭バレーボール大会

五城目A 健闘空しく三位

去る七月十二日広域体育館において、南秋田郡バレーボール大会が行われた。
参加八チームで、A・Bコートに分れてリーグ戦をおこなった。五城目町からは、若妻会員を中心に選抜された選手で、A・B二チームを編成した試合のぞんだ。

この日のために練習を積み重ねてきた選手たちは、両チームでもよく健闘したが、天王チームと昭和チームに敗れてしまった。結局天王チームが優勝したが、選手たちの若さより、テクニクにまさっており練習量の多さを物語っていた。

成績は次のとおり。
優勝 天王 小玉チーム
準優勝 大久保駅前チーム
三位 五城目A チーム
五城目B チーム

るが、秋田県の場合は、まず県独自の稲作試験場を作り、そこで、大瀧村には広大な土地があるそうである。この機会には是非米の国秋田にふさわしい試験場を作してほしい。私の記録は稲を立派に育てるために役立つのだから、その稲作の基点が農家利用されなければ本来の意味をなさない。

これからが勝負の稲作り

～八月上旬の稲作管理～

病害虫防除の徹底

穂肥の適正で粒数確保

◆ 生育概況

つゆ明けとともに、きびしい暑さのため稲の生育も順調な経過を示しております。例年比べますと草丈も短かく、又分ヶ数も数も少ないのが今年の生育概況です

◆ 今後の対策

分ヶ数の不足を粒数、稔実歩合、千粒量でカバーすることです。そのためには、稲を倒さないで、大きな穂をつくることです。

それには、適期に穂肥を実施すること、病害虫の適期防除です

(1) 病害虫の防除

高温とともに紋枯れ病が発生し



防除は適期に行う

注意する。又ニカマイ虫の二化期の防除時期がすでに業しよう陥変が現われたので、防除するようにする

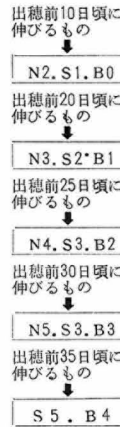
◎ 穂肥

今後は、土壌チッソの無機化(発現)は、期待出来ませんので、一方有効窒素の向上に穂肥数、一穂額数を確保するため、出穂前十五日頃を見はからってチッソ成分量で、一・五キロ～二・〇キ

てますので田圃の見まわりを実施して、早期防除に努めてください

紋枯病は特に、畦畔をよや、尻水口の附近をよく観察してください

〇程度の追肥を行うことが大切です。しかし葉色、節間伸長等十分観察後実施することが大切です。左の図を参考にしてください。



「出穂期は稚苗機械植で 八月十五日頃予定です」

◎ 穂の大きくなる時期は出穂前十五日頃に追肥を行なうとその時期によく肥効を現わします。

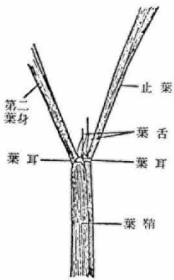
注意する。又ニカマイ虫の二化期の防除時期がすでに業しよう陥変が現われたので、防除するようにする

◎ 水管理

この図は出穂十日頃の稲の状況です。こういう時期が減収分裂盛期の稲の姿です。一親穂をみて診断してください。

◎ 水管理

種の窒素の増大とともに、水の消費量も大きくなりました。新しい水(酸素の多い水)を入れて根の活力を養ってください。



バスの集会所とビニールハウスのプル完成

―下高崎部落―

去る七月二十四日下高崎部落(会長館岡良三、三三戸)では、新しくできた集会所と子供用プールの竣工式が行われた。それまでの集会所は馬川公民館を利用してしたが、利用者数が多く



廃バスを利用した集会所

一方、子ども用プールは、子ども育成会(会長村上文虎)が、館岡良三さんのビニールハウス五九・四坪に幅三・六m長さ九・一mのプールを造ったもの。夏休みに入った子どもたちは、連日の猛暑に水を待た、かっぱぶりを発揮していた。

部落単位で小集会所を持ちたいとかねてからの願いが実現した。また、子供プールは、館岡会長のビニールハウスを改造して造ったもので、部落の人々の努力奉仕によって完成したものである。今後、集会所、プールの利用と相まって新しい部落経営のあり方として注目されている。

七たまつりコースのお知らせ
▼集会所 五城目小学校入口 (午後八時出発)
▼コース 畑町→築地町→下町→駅前通り→古川町→新町→上町→小浜薬局前で解散。
詳細については、五城目公民館 主事 猿田和男さん (電話二四六五)まで



楽しそうに水しぶきをあげるかつび連



おしらせ

▼時間
実施の時間運用については、町内・部落・団体に一任する。

▼実施要領

①各町内・部落の河川、用水路等に散在する空かん・ガラス・金属類の処理及び雑木・雑草のかり払い。

②護岸、橋の付近のごみ処理。

③下水・測溝の汚物あげと処理。

④可燃物は焼却し、不燃物は適当な場所を選定し、穴を掘るなどして処理すること。

⑤捨て場のない本町部についての汚物あげは、乾燥の状況を見て二、三日後に町で収集する。その際、汚物は車の入れるところにまとめておき、積み込む際町内のご協力を願います。

河川下水の いっせいで清掃

このたび第二回町ぐるみ清掃を左記により実施することになりました。
日程等についてはつぎのとおりである。

▼期日 八月七日企業・官公署

八月八日町内・部落

なお、大掃討作戦後の汚物あげについては収集いたしませんのでよろしくご協力願います。

▼その他

- ・雨天順延
- ・当日、民生部保健衛生課職員により各地区を巡回する予定です。
- ・環境美化実践へご要望ご意見は鶴二一〇〇まで



河川下水のいっせいで清掃

ラジオ体操と

マラソンで一日の英氣

旧町内の小中学生は、夏休みに入り、朝のすがすがしい空気を胸いっぱい吸いながら、毎日ラジオ体操を行って、一日の英氣を養おうと体力づくりを励んでいる。

現在、中川原、築地町の二町内であるが、これをみんなのものにするため、五城目公民館では全町に体力づくりマラソンを呼びかけている。

盆期間中の窓口事務は平常通り

八月十三日(金)午後から、十四日(土)まで盆休戦に入りますが、窓口事務については平常通り行います。
お盆帰省のためご利用のせつはよろしくお願ひ申し上げます。

誕生おめでとー

ごさいます

- | | | |
|------|-------|------|
| 町村 | 齊藤 豊 | 7, 2 |
| 春治 | 愛子 | 二男 |
| 下山内 | 伊藤 薫一 | 7, 2 |
| 小巻 | 久美子 | 長男 |
| 篠田 | 小巻 | 7, 3 |
| 竹英 | ひで子 | 二女 |
| 大川二区 | 鷺谷 孝弘 | 7, 4 |
| 直征 | マツ | 二男 |
| 下樋口 | 鳥崎 功 | 7, 7 |
| 北々口 | 小玉 美樹 | 7, 9 |
| 俊雄 | タキエ | 長女 |
| 石崎 | 加藤 夏子 | 7, 9 |
| 正松 | 幸子 | 7, 9 |
| 石崎 | 加藤 陽子 | 7, 9 |

善意銀行預託のお知らせ

- ・六月十四日 三万円 築地町 栗山 忠弘 (亡父、邦之輔殿の香典返し)
 - ・七月十二日 三万円 御殿町 今村ハジメ (亡母、マツノ殿の香典返し)
- どうもありがとうございました

善意銀行五城目支店
五城目町社会福祉協議会

- 新畑町 正松 幸子 二女 7, 12
- 泉谷 幸恵 7, 12
- 三郎 松子 二女 7, 14
- 村上 龍栄 7, 14
- 栄 明子 長男

食中毒予防週間

八月二日～八日

例年夏になると食中毒が多発する。食中毒のバイ菌にとって高温多湿の好条件がそろうからです。

◆原因の大半は細菌性

- ①細菌性 ②化学性(農薬など) ③自然毒(キノコ、フグなど)によるものに大別されますが、その大半は細菌性によるものです。

食中毒菌の代表格は、ブドウ球菌です。これは食品中で増殖するときに出す毒素(エンテロトキシン)によるもので人のおできや化のう創などを通して食品が汚染される場合がほとんどです。この毒素は熱につよいためやっ

昭和51年度日赤募金実績			
五城目地区	486,780円	既住社員 437件	新規 146件
富津内地区	104,790円		25件
川地区	73,531円		12件
川地区	104,430円		77件
馬場目地区	98,730円		2件
総計	868,261円		
既住社員	855件	} 社員 1,117件	
新規社員	262件		

うこと。

●きれいなマナ板、包丁で調理し消毒した食器、容器に入れること。
●ハエ、ゴキブリ、ネズミなどを駆除し、周囲の環境を整備することです。

二、迅速にできるだけ早く食べましょう

パイ菌は約二十分一回分裂し一個のパイ菌は二十四時間後には二八兆に増えます。パイ菌は食べ物の中で増殖条件がよければ四時間位で中毒量に達します。

●調理した食べ物はなるべく早く食べることです。

三、温度管理に注意すること

①冷却し細菌の増殖をおさえる。細菌は摂氏十度～六三度でどんどん増えます。

②冷蔵庫は庫内温度を摂氏五度位に保つことが肝要。

③加熱しパイ菌を殺す。食中毒菌はだいたい八十度、十分位で死滅します。

●なま物はなるべく食べないようにな、加熱処理して食べること。
●なま焼き、なま揚げは事故のもと、食べ物の中までよく熱がとおるように調理することです。

●秋田県では宴会、会合等に出された料理を持ち帰らない運動を進めています。

夏は冷たいものの取り過ぎや疲労などで胃腸が衰え食中毒にかかりやすい状態になっています。食中毒を防止し、快適な夏を過ごしましょう。

五城目保健所